

## 平成 13 年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名] (101) 伊勢茶振興総合対策事業

[評価年月日] 平成12年10月4日

[主担当部課名] 農林水産商工部 農芸畜産振興課

[記入課名・課長名・電話] 農芸畜産振興課 松田正次

### 1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策：(4—1) 安心を支える力強い農林水産業の振興

施策：(413) 戦略的なプロジェクトの推進と新技術の開発

総合計画の目標項目：高性能摘採機刈り取り面積、銘柄茶としての販売割合

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策：

### 2 基本事務事業を巡る環境変化(過去 現状 将来)

- ・ 後継者不足、高齢化による茶栽培農家の減少
- ・ 技術開発の進歩による管理機導入面積の増大。加工場のコンピュータ化。
- ・ 硝酸態窒素の環境基準格上げ。ダイオキシン類汚染等安心な食料への要求。
- ・ 茶専門店の減少から、原料茶から製品茶としての付加価値をつけた販売。ドリンク飲料の増加。

### 3 基本事務事業の目的と成果

#### 3-(1) 対象と意図(何をどういう状態にしたのか)

茶生産農家を対象に茶園を省力機械管理し、機械化に対応できる園地整備を促進するとともに、農家間の技術情報交換を進め、高品質化を促進する。また、伊勢茶を原料茶から脱却することを進め、伊勢茶の名声を高めることにより、伊勢茶を有利販売し、もって農家所得の向上と経営の安定を図る。

#### 3-(2) 成果指標名・成果指標式(総合計画の目標項目には\*を付す)

伊勢茶振興度

$$\left[ \frac{* \text{摘採機実績刈り取り面積}}{\text{摘採機計画刈り取り面積}} + \frac{* \text{銘柄販売量}}{\text{県内荒茶生産量}} \right]$$

変更した場合の成果指標名・成果指標式

#### 3-(3) 設定した成果指標に関する説明(指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

摘採機の刈り取り面積と銘柄茶販売量に着目した数値目標とした。

#### 3-(4) 結果(施策における2010年度の目標)

銘柄茶としての販売割合 30%

### 4 基本事務事業の評価

#### 4-(1) 前年度(H11年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

- ・ 摘採機を受益面積63haに導入した。県下の主な産地に導入され、今後の推進のモデルに。
- ・ 全国茶品評会及び関西茶品評会において農林水産大臣賞を獲得し、伊勢茶の名声を高めた。
- ・ 四日市市川島町で農地開発工事の実施。最終14年度までに茶20ha開発。

**前年度に残った課題**

- ・機械の増々の導入。園地整備への意識醸成。
- ・伊勢茶のイメ - ジアップ。伊勢茶商品づくり。消費拡大・販路拡大。

**4-(2) 本年度(H12年度)における基本事務事業の見込み評価****本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果**

- ・摘採機受益17haの増加。
- ・全国茶品評会及び関西茶品評会において農林水産大臣賞を獲得し、伊勢茶の名声を高めた。
- ・四日市市川島町の農地開発工事の実施。最終14年度までに茶20ha開発。

**本年度残ると思われる課題**

- ・機械化の一層の推進。(機械価格が高額。加工場の規模が小さい。)園地整備の意識醸成。
- ・伊勢茶のイメ - ジアップ。消費拡大及び販路拡大。

**5 基本事務事業の改革方向**

- ・機械化の導入促進。実証展示、研修会の実施。基盤整備の意識醸成。加工場の共同化推進。
- ・全国お茶まつりの場を生かしての伊勢茶のイメ - ジアップ、消費拡大及び販路拡大を図り、価格の安定と農家所得の向上を推進する。

**6 成果指標値及びコスト等の推移**

|                   | 成果指標値                      |                            | 総合計画<br>目標数値 | 予算額等(千円)         | 必要概算<br>コスト(千円) |
|-------------------|----------------------------|----------------------------|--------------|------------------|-----------------|
|                   | 目 標                        | 実 績                        |              | 所要時間(時間)         |                 |
| 前々年度<br>(H10年度)   | 135/150+<br>11/15=<br>0.82 | 231/150+<br>12/15=<br>1.17 | 135ha<br>11% | 59,050<br>9,264  | 344,482         |
| 前年度<br>(H11年度)    | 140/150+<br>12/15=<br>0.87 | 231/150+<br>12/15=<br>1.20 | 140ha<br>12% | 32,993<br>8,616  | 69,008          |
| 本年度<br>(H12年度)    | 145/150+<br>13/15=<br>0.92 | 315/400+<br>12/15=<br>0.80 | 150ha<br>13% | 78,272<br>8,964  | 115,473         |
| 本年度補正後<br>(H12年度) | 145/150+<br>13/15=<br>0.92 | 315/400+<br>12/15=<br>0.80 | 150ha<br>13% | 180<br>50        | 115,473         |
| 翌年度<br>(H13年度)    | 150/15+<br>13/15=<br>1.0   | ———                        | 150ha<br>15% | 49,617<br>11,964 |                 |
| 計画目標年次<br>(H年度)   |                            | ———                        |              | ———              | ———             |

7 翌年度(H13 年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM: Project Portfolio Matrix)

<必要概算コスト： 5 億円以上 ~ 1 億円 ~ 5 千万 ~ 1 千万 ・ 1 千万未満 \* 休止・廃止>

基本事務事業の成果向上への貢献度合



各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

基本事務事業名：伊勢茶振興総合対策事業

4 / 4

## 8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

[illegible]